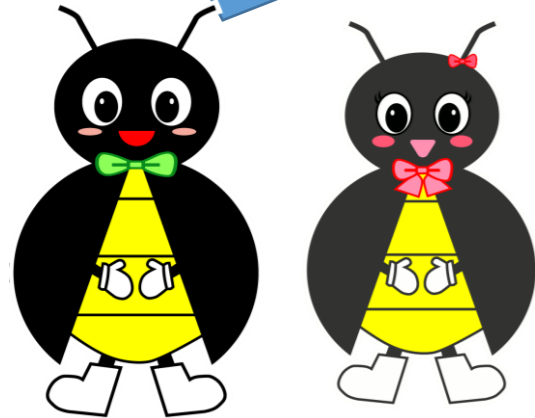


視察受け入れ報告（本年度後半）



本年度は、10月末現在での「4団体」の視察受け入れに続き、その後も計「5団体」を受け入れました。これは、本会の今までの活動中でも中々無い経験で、受け入れをこなすに従って、本会側の対応もだんだんと上達して行ったような気がしております。

その中でも、昨年末の12月23日（土）にお見えになられた谷合正明農水副大臣の視察は、程よい緊張感の漂った、今までに無い視察受け入れとなりました。

それでは以下、5団体の視察の様子をお知らせしたいと思います。

① 島根県議会 中山間地域・離島振興特別委員会 調査視察団 … 平成29年11月9日（木）、27名



今回の県議視察団は、12名の県議と15名の県職員で構成され、当地区の3部会の取組について説明した。

まず、特別委員会の原委員長が挨拶され、「当地区の取り組みは県下でも注目されており、今回は我々も学ぼうという観点から、お邪魔させて頂きました」と話された。



今回の受け入れ態勢は、品川会長、豊田・岡崎・林の3副会長、佐田・青木・宅江の3理事、そして竹田運営委員と豊田事務局長が勢揃い。

後で話を聞くと、特にパート毎にお話された3副会長から、「やはり、多少気を使ったように思う」との感想が聞かれた。



それぞれの部会が説明したのだが、その中でもやはりくらし部会、竹田運営委員の話は興味を集めた模様で、各県議より多くの質問が寄せられた。

竹田運営委員の説明も手慣れたもので、特に「サル囲い檻」の説明は、各県議が真剣に聞いていたようである。



それが証拠に、説明会終了後も竹田運営委員に質問する県議が集中し、それに対しても懇切丁寧に返答されていた。

「当地区の有害鳥獣対策は、捕獲より防除に力を注いでいる！」との力説を、各県議の皆さんには分かって頂けたであろうか。

② 益田市連合自治会長会 視察団 … 12月8日（金）、16名



当日は、午前10時30分からの1時間、センター内ホールにて、パワーポイントによる「有害鳥獣対策」の説明を行なう。

この日は、ひとまるビジョンも取材に来ており、視察対象は「有害鳥獣対策！」。本会の得意分野であった。



防除隊捕獲班班長の竹田尚則運営委員より、「二条は、捕獲じゃなくて防除に力を入れている！」との講義をして頂く。

捕獲とは、殺処分を含めての意味。「防除」の意味を力説する、竹田運営委員であった。



昨年8月31日（木）に現地説明会を行なった、金ヶ峠の「サル囲い檻実証実験」現場のリアルタイム映像をお見せする。

その設置費の安さ、即断性等を説明されると、関心のある匹見方面の連合自治会長から、特に入念な質問があった。



リアルタイム映像には、多くの連合自治会長が身を乗り出し、見入っていた。

「大量に入った場合は？」との質問には、「GPS発信機の首輪を2頭ばかり付けて、後は怖がらせた後で放獣する！」と答えた、竹田運営委員である。

③ 浜田市まちづくり推進委員会 + 浜田市連合自治会協議会 視察団 … 12月19日(火)、45名

②



この日の視察団は、委員会側:35名、協議会側:10名であった。
何故、名称が違うかと言うと、益田同様の自治組織的な団体が出来上がっている地区が委員会に属し、出来上がっていない地区が協議会に属しているそうである。



この日の日程は盛り沢山で、1時間余りの説明会の後、桂平町金ヶ峠の「サル囲い檻実証実験」現場に案内。
質問攻めにも負けない、竹田さんであった。



その後、「お試し体験住宅 つどい」にも案内する。
囲炉裏に薪ストーブ、電気式陶芸窯の設備に、一同驚かれていた様子だった。

この日の締めは、ほたる会館での手作り昼食！で、柏友会女性部所属の5名の女性陣に朝早くから奮闘して頂き、抜群に美味しい昼食を提供して頂いた。
視察団の評判も上々で、おかわりされる方も続出！
この選択は、正解だった！



最後は、お決まりの集合写真！
右側に写っている女性陣5名が、本日の「陰の主役」を演じてくれた面々である。

④ 谷合正明農水副大臣 視察 … 12月23日(土)、1名(他2名)



谷合農水副大臣は、ご自分の知識を広める為、時間が出来れば日本全国を回っておられる由！
この日もお1人ながら、吉野和彦県議会議員と永見おしえ市議会議員の2名が付き添い、市役所からも5名の同行者があった。



まだ、お若い！聞けば、御年44歳との事！
しかし、さすがは副大臣になられただけのことはある。何故なら、その博学ぶりと堂々とした態度が、まるでオーラの如く感じられたからである。



今回は、主に当地区の「有害鳥獣対策を聞きたい！」とのご希望で、会長・副会長・理事の7名全員出席の上で竹田運営委員に出てもらい、お得意の解説をして頂いた。



最後、皆さんでの記念撮影をお願いすると、気持ちよくOK！して下さった。
皆さんとの打ち解けた様子が非常に良く判る、貴重なワンショットである！



予定終了後も、特に吉野議員さんが竹田運営委員に質問攻め！
竹田委員もいくらでも返答するので、谷合副大臣の方が「そろそろ！」と促されていた様子である。

⑤ 大田市視察団 … 平成30年2月12日(月)、4名



まず品川会長が、狭い地区振興センターの事務室の中で、概要説明をされた。
今回も竹田尚則運営委員にお出まし頂き、加えて「カメトル」開発者である日精販社長中野氏にもご来館頂いた。



「こちらで創られたサル囲い檻を是非、見せて欲しい！」との要望で来益された方々。
左側の2名は大田市役所 有害鳥獣対策係の職員さんで、今回のメインキャストである右側のお二方は、現役の猟師さんであった。



室内での説明はほどほどにして、桂平町金ヶ峠の「サル囲い檻」の設置現場にご案内。
これで今季、この実証実験現場に視察者を案内したのは、何回になったであろうか？



概要はかなり説明していたつもりが、やはり現場に来ると一段と熱を帯び、矢継ぎ早の質問攻め！それでも竹田運営委員は、冷静に一つひとつ返答されていた。
「サルよ、来い！」